



海老名市民生委員・児童委員だより

支え合う 住みよい社会 地域から

ふれあい

Vol.91

発行 令和3年12月1日

発行
海老名市民生委員児童委員協議会
〒243-0492 海老名市勝瀬175番地の1
☎046-235-4820 (福祉政策課)

156名

← さて、何の数でしょう？

答えは、海老名市の民生委員・児童委員と主任児童委員の数です。

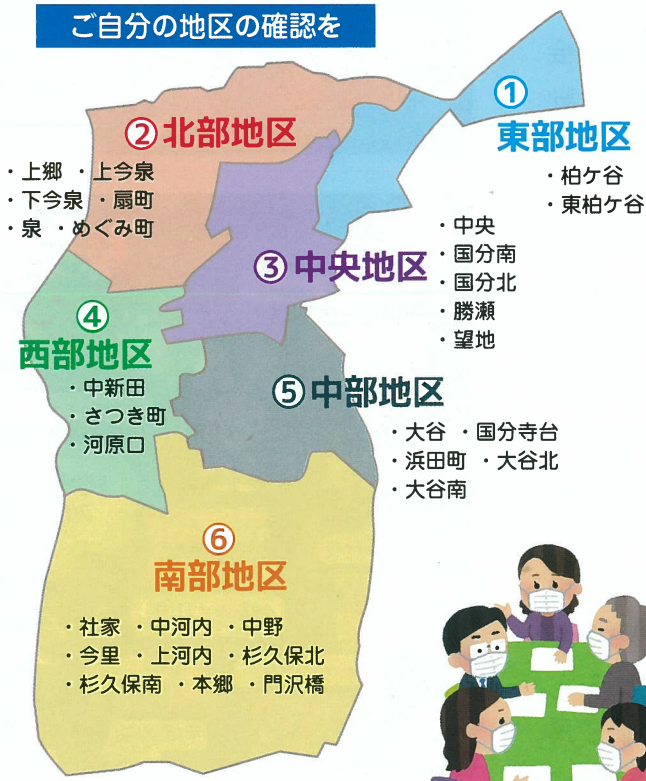
海老名市民生委員児童委員協議会は、市内の6地区民生委員児童委員協議会(東部、北部、中央、西部、中部、南部)が集まって、きめ細やかに各種福祉事業が推進できるよう調整しています。主に高齢者の見守りや子育て支援など個々の相談や問題解決に適切な対応に努めています。

民生委員児童委員協議会の主な活動

市全体の地域福祉施策に関する共通認識と情報の共有を図り、円滑な活動ができるよう話し合いを行っています。また、主任児童委員部会、研修委員会、広報委員会を設け、子育て事業の推進、委員の資質向上、活動の周知を行っています。

- 6地区会長・副会長会を毎月開催
- 全体研修会(年2～3回)の開催
- 広報紙「ふれあい」の発行(年2回発行)
- 活動パネル展の開催(毎年5月に開催)

ご自分の地区の確認を



各地区の委員数は、次ページで

みんせい

コロナ禍の中での 民生委員・児童委員活動

西部地区民児協は、河原口・さつき町・中新田と厚木駅中心に活動しています。現在、厚木駅近辺に高層マンションの建設が進んでおり、新しく入居される方々とのお付き合いが始まります。

コロナ禍の中で、地域行事を通じてのふれあい、また、訪問し、直接お話しすることが難しくなっています。西部地区では、「つながり続ける大切さ」を目標に、75歳以上の高齢者宅に「お困りごとありませんか」との内容と担当委員の氏名、連絡先を加えたお手紙をお持ちし、ポストに投函させて頂きました。

ハザードマップで、西部地区は浸水地区になっています。一昨年の豪雨の時は避難所に避難された方が多くいました。大雨による相模川の越水を委員は心配しています。関係機関・自治会等のご意見を参考に災害時の対応について話し合いをしております。



これからは、新生活様式での活動を工夫して行っていかなければと思っています。

海老名市民生委員児童委員協議会
西部地区区会長 千葉 八重子

各地区民生委員児童委員協議会の活動を紹介します!!

北部地区
 民生委員・児童委員20名、主任児童委員2名

●活動テーマ
「地域の方々との信頼関係構築」

あいさつ運動を通し、信頼関係を築き、誰もが住んで良かったと思える地域づくりに努めます。



地域の身近な相談相手
「民生委員・児童委員」

各地区民生委員児童委員協議会は、毎月1回定例会議を開催し、地区内の情報交換や重点的に取り組む内容を討議するとともに、適切な対応や活動となっているのか確認しています。



東部地区
 民生委員・児童委員28名、主任児童委員2名

●活動テーマ
「地域のつながりを大切に」

地域の皆さんが仲良く安全安心に生活できるように自治会・地区社協・包括支援センターと連携し、「地域共生社会」を目指して活動します。

西部地区
 民生委員・児童委員23名、主任児童委員2名

●活動テーマ
「災害時の安全確保の体制づくり」

相模川が地区西側に流れているため、大雨時の水害対応や住民の安全確保に努めます。



見守りや支援が必要な方々には適宜訪問して安心・安全を確認しています。また、学童の登下校の見守りや地域パトロールを関係団体と一緒に実施しています。

さらに、様々なサロンのお手伝いをしながら、子育て中や高齢者の方々の様子を見守っています。

しかしながら、このコロナ禍で民生委員・児童委員活動が制限され、一人ひとりとお顔を見てお話ができない状況です。また、ふれあい行事や密となる行事がすべて中止となりました。



中央地区
 民生委員・児童委員24名、主任児童委員2名

●活動テーマ
「こころ通う地域づくり」

自治会・地区社協と協働するとともに、訪問見守り活動を通じて、地域の実情を把握し、よき隣人として必要な支援のつなぎ役に努めます。

中部地区
 民生委員・児童委員21名、主任児童委員2名

●活動テーマ
「和顔愛語」

いつも笑顔とやさしい言葉で、地域の皆さんの身近な支援者として寄り添います。



そこで、各地区民生委員児童委員協議会の主な活動内容を写真で紹介します。

一日でも早く、従来の活動が再開され、地区独自の健康で文化的な行事を皆様とご一緒に実施できるよう民生委員・児童委員も願っています。

民生委員児童委員活動パネル展の写真を活用



南部地区
 民生委員・児童委員28名、主任児童委員2名

●活動テーマ
「地域の皆さんに寄り添う街づくり」

包括支援センター、地区社協などの交流協力、地域仲間づくりに積極的に参加します。通学中の事故発生から通学路の一部見直しに協力し、PTA、自治会、民生委員とで子どもたちの見守り活動を進めてまいります。

免疫を高めてインフルエンザを予防しよう!!

免疫カアップ



免疫力は、年を取るにつれて低下します。免疫力を高めるためには、腸の環境を改善し、その働きを活発にすることが大切です。そのためには、バランスの良い食事をする事です。そのほかにも、体を動かす、ストレスをためない、十分に休むなどといったことも、大切です。

生活を整えて免疫カアップ!!



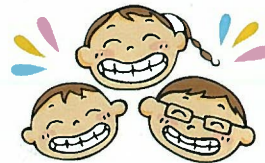
免疫カアップ食材

適度に運動をする

60分程度の中強度な運動をすることで、免疫力が高まると言われています。反対に、激しい運動を行うと、免疫力が低下するといわれています。まず60分以内で、早歩きウォーキング、犬の散歩など、中強度な運動を行うことから始めてみましょう。

たくさん笑う

笑うことで免疫細胞であるNK細胞が増加することがわかっています。NK細胞は細菌やウイルスを消失させます。気の合う仲間や家族との会話や、バラエティー番組を見るなど、笑うことを見つけていきましょう。



身体を温める

身体を温めることで身体の血流が良くなり免疫力が高まるといわれています。シャワーを浴びるだけでなく、湯船につかって疲れを癒やしながら、身体を温めましょう。

常設サロン「大谷ふれあいの里」



住所: 大谷南2-13-23 (信号/大谷八幡宮入口)
利用時間: 10時~14時
問合せ先: 太田会長 TEL.234-1530

市社協のモデル事業として大谷地区に常設サロン「大谷ふれあいの里」が開設されました。大谷地区社協「みんなの広場」が運営しています。

- 住民間のふれあいスペース提供
カラオケ・囲碁・将棋・麻雀の場の提供
- 文化活動への支援
手芸・絵画・写真の展示・レコード観賞等の支援
- その他
各種イベント開催
お困り相談室開設
有志による野菜園
花壇オープン



お知らせ

東部地区に新たに
民生委員・児童委員が
選任されました。

担当委員: 加藤正男
☎ 046-232-5077
担当区域: 東柏ヶ谷2丁目17~23

編集後記

今回は、各地区の活動を写真により紹介しました。何度もあった緊急事態宣言の発出により、民生委員・児童委員の活動に制約があり、なかなか皆様に寄り添うことができず苦しい一年を過ごしました。

来年は皆様と明るい笑顔があふれる交流の場ができることを願っております。

